

特別支援学級 国語科学習指導案

日 時 平成 24 年 10 月 4 日 (木)
児 童 2 年 2 組 1 名(男子 1 名)
授業者 教諭 ○○ ○○

1. 単元名

思いを見つめて読む「きつねのおきやくさま」

2. 単元の構想

(1) 単元について

「きつねのおきやくさま」は、繰り返しの構造をもつ物語である。ひよこと出会って、太らせてから食べるために優しく接しているきつねは、その後続けてあひる、うさぎに対しても親切にふるまう。ひよこは、きつねについて、「優しい」「親切」「神様みたい」と表す言葉を発展的に変化させていく。そのたびにきつねは心を動かされていく。

本教材では「場面の様子や人物の行動をもとに、きつねの気持ちの動きを読む」ことをねらいとし、行動を表す言葉や感情を表す言葉の意味理解、そして場面の様子や行動によっては、気持ちが変化していくことがあることに気づかせていきたい。そのために、想像しにくいきつねの「食べたい気持ち」、ひよこ、あひる、うさぎをお客様としてもてなす「やさしい気持ち」をハートマークに色や分量で表していく。また、場面ごとの絵ときつねの行動を書いた言葉をロール紙に貼り、場面のつながりを意識しやすくする。それらを視覚的にとらえ、比べていくことできつねの気持ちの移り変わりを読み取り、「どんなきつね」だったか言葉で表現させていきたい。

(2) 児童の実態

《 省 略 》

(3) 指導観

《 一部省略 》

本時では、学習した場面をロール紙にまとめ場面のつながりを意識しやすいようにする。そして、文中の行動や感情を表わす言葉に対して、「笑顔」や「泣き顔」といった表情カードを使い、きつねの気持ちをハートメーターに表し気持ちの移り変わりを視覚でとらえやすくする支援を行う。「食べたい気持ち」「やさしい気持ち」の量が徐々に変化していること気づき、最終的に感じたきつねの印象に相応しい言葉を表現させ、感情を表す語彙の獲得につなげていきたい。

3. 単元の目標

場面の移り変わりに気をつけて、登場人物の様子や気持ちを読む

4. 言語活動

きつねの気持ちをハートで表し、ワークシートに気持ちの変化をまとめていく。

5. 単元の指導計画（13時間）

時間	目標	主な学習活動	・教師の主な働きかけ
1	○『きつねのおきゃくさま』の全文を読んで登場人物をつかむことができる。	・『きつねのおきゃくさま』を読み、登場人物をつかむ。	・登場人物ごとにカラーシールを貼り台詞の区別をつけやすいようにする。 ・登場人物の顔写真を掲示する。
2	○場面ごとにきつねの行動に視点を当て、あら筋をとらえる。	・きつねの行動に注目し、段落分けをする。 ・各場面のきつねの行動を「○ ○したきつね」という文で表す。	・絵や、段落最後の繰り返しの言葉等に注目させ、場面が変わるヒントになるよう声かけを行う。 ・各場面の絵を掲示する。 ・各場面の行動を札に書いていく。
3	○きつねの印象を言葉で表すことができる。	・きつねのおきゃくさまを読み、きつねの印象を「○○なきつね」と表わし、表わした理由をワークシートに書く。	・文章内の様子や気持ちを表わす言葉や絵に注目させ「○○」の部分の言葉が引き出しやすいよう声かけを行う。
4	○（一）の場面を読み、きつねの気持ちを想像し、ハートに表すことができる。	・きつねの食べたい気持ちや、やさしい気持ちをハートの分量や色で表す。	・（一）の場面に出てくる言葉の意味を劇化や絵で表す。 ・きつねの気持ちを表す言葉や行動を表す言葉に注目させる
5	○（二）の場面を読み、きつねの気持ちを想像し、ハートに表すことができる。	・きつねの食べたい気持ちや、やさしい気持ちをハートの分量や色で表す。	・（二）の場面に出てくる言葉の意味を劇化や絵で表す。 ・きつねの気持ちを表す言葉や行動を表す言葉に注目させる
6	○（三）の場面を読み、きつねの気持ちを想像し、ハートに表すことができる。	・きつねの食べたい気持ちや、やさしい気持ちをハートの分量や色で表す。	・（三）の場面に出てくる言葉の意味を劇化や絵で表す。 ・きつねの気持ちを表す言葉や行動を表す言葉に注目させる
7	○（四）（五）の場面を読み、きつねの気持ちを想像し、ハートに表すことができる。	・きつねの食べたい気持ちや、やさしい気持ちをハートの分量や色で表す。	・（四）（五）の場面に出てくる言葉の意味を劇化や絵で表す。 ・きつねの気持ちを表す言葉や行動を表す言葉に注目させる
8	○（六）（七）の場面を読み、きつねとひよこ達の気持ちを想像し、ハートに表すことができる。	・きつねとひよこ達の気持ちをハートの分量や色で表す。	・（六）（七）の場面に出てくる言葉の意味を劇化や絵で表す。 ・きつねやひよこ達の気持ちを表す言葉や行動を表す言葉に注目させる
9 本 時	○全文を振り返り、きつねの気持ちの移り変わりを確かめ、どんなきつねだったか自分の言葉で表すことができる。	・（一）～（七）の場面のきつねの気持ちや様子を確かめ、どんなきつねであったか自分の言葉で書く。	・（一）～（七）の場面の絵ときつねの行動をロール紙に貼り、物語がつながっていることを意識させる。 ・各場面のきつねの気持ちを前時までのワークシートを見せ、ふりかえさせる。
10 ～ 12	○きつねが出てくる本を読み、自分のお気に入りのきつねを見つける。	・きつねが出てくる本を探し読む。 ・気持ちや行動を表す言葉からどんなきつねであるか考える。	・性格や行動がそれぞれ違うきつねの本を数冊用意し、比較できるようにする。 ・ハートメーターで表現させる。
13	○好きなきつねの本ベスト 33 を選ぶことができる。	・選んだきつねの本のタイトルと、どんなきつねであるか自分の言葉で書く。	・前時までのハートメーターを参考させる。

6. 本時案

(1) 本時の目標

- ・全文を振り返り、きつねの気持ちの移り変わりを確かめ、どんなきつねだったか自分の言葉で表すことができる。

(2) 本時の展開

	○学習活動 ・児童の意識 ●困り感の予想	□教師のかかわり ☆評価（方法） ◎困り感への手立て
つかむ	○本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">きつねのハートメーターを比べ、どんなきつねだったか気持ちを表す言葉で書こう。</div>	□課題を板書で提示する。
考える	○各場面のきつねの行動を振り返り、きつねの気持ちを黒板のハートメーターに表していく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">●場面のつながりが理解できない。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・（一）の場面のきつねの食べたい気持ちの量は5だ。 ・色は赤。 ・やさしい気持ちがある。 ○各場面のハートメーターを比べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・全部同じ色じゃない。 ・メーターの数が違う ・気持ちが変わっている。 ○（一）の場面から（七）の場面までのきつねが「どんなきつね」だったか、自分の言葉でワークシートに書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">●きつねの気持ちを想像し表すことができない。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・食べたい気持ちはこれくらいで、やさしい気持ちがこれくらいだ。 ・やさしい気持ちが多い。 	◎各場面の絵と行動をまとめた言葉が書かれたロール紙を提示する。 ◎前時までにとまとめた各場面のきつねのハートメーターを表したワークシートを参考にさせる。 □メーターの「色、数」に注目し比べさせる。 □ワークシートに書く手順を確認する。 ◎ハートメーターの食べたい気持ちとやさしい気持ちの量を比べさせる。 ☆ハートメーターの量を比べ気持ちの移り変わりに気づいている。（観察・発言）
深める	○どんなきつねであるか発表する。 ○次時の授業を把握する。	□「○○なきつね」と板書し発表後、 □次時の授業を伝える。 ☆どんなきつねだったか、自分の言葉で表している。（発表・ワークシート）